

教育研究所努力目標：「生きる力」をはぐくむ、児童生徒活動の振興と教職員研修の充実

本年度も、天草教育研究所の諸事業は、各市町長様、教育長様、関係諸団体の皆様のご理解とご支援をいただきながら、会員の先生方の熱意によって、多くの成果を残すことができました。感謝申し上げます。

さて、本研究所は、天草の教育の振興と教職員の資質向上のために六十九年間という長きにわたって、教員研修や児童生徒の文化・体育事業に邁進してまいりました。しかし、令和元年度の後半から本年度の四月まではコロナ禍によって、研修や事業に多くの制限が加えられ、思うように活動できなかつたことも多々あったと思えます。しかし、五月からはコロナ禍以前の活動に戻りました。未曾有のコロナ禍で我々が失ったものは決して少なくないと思えますが、一方でICTを活用した授業や研修などについては革新的に進化し続けています。結果的に「個別最適な学び」と「協働的な学び」の二本の柱から成る「令和の日本型学校教育」が具現化されるスピードが速め



お礼のことは
天草教育研究所
副所長 稜南中学校
倉田 斉

られたように思います。当然ながら授業に対する我々の意識改革も進みました。また、天草の児童生徒を誰一人取り残すことなく、最大限に学びの保障を行うためにはどうしたらよいかという課題意識を学校の垣根を越えて、教職員全員で共有できたことも成果として挙げられると思います。学力・体力向上の進め方ももちろんのこと、多様化する児童生徒への対応の在り方等、教職員が学ばなければならぬ内容は多岐にわたりますが、私たち教職員が主体的に学ぶことで、児童生徒に分かる喜びを味わわせたり、可能性を伸ばしたりできると考えます。

これからも、天草教育研究所の活動にご理解をいただきますとともに、各市町長様、教育長様には引き続きご理解とご支援をよろしく願います。本当にお世話になりました。



各部会活動報告

天草

部会長 本渡東小学校 校長 伊津野 隆之

本年度は、新型コロナウイルス感染症五類移行により、昨年度以上に児童生徒の文化・体育面の振興に寄与する事業を実施することができました。

上天草

部会長 龍ヶ岳小学校 校長 村田 賢治

本年度は、以下の事業に取り組んできました。

【研修部】

小学校、中学校、小中合同の二十部門で、年間三回の研修を実施しました。指導力の向上を目指して、研究授業や実務研修、実技研修等を実施しました。

【文化部】

各学校で毛・硬筆展、描画展、科学・発明展、壁新聞展、特別支援学級展の作品づくりに取り組みました。

毛・硬筆と科学展の優秀賞作品は松島総合センターアロマに展示し、地域の方々にも見ていただきました。



【小学校体育部】

変喜ばれていました。部会水泳記録会は七会場に分かれて実施しました。陸上記録会は、完成間もないあましんスタジアムで三ブロックに分かれて実施しました。美しいスタジアムで郡市新記録が三つ生まれるレベルの高い大会となりました。

【中学校体育部】

天草市中体連夏季総合大会、中体連駅伝競走大会に出場しました。駅伝競走大会はロードでの実施となりました。

【文化部】

部会運営にあたりましては、市当局並びに市教育委員会のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

苓北

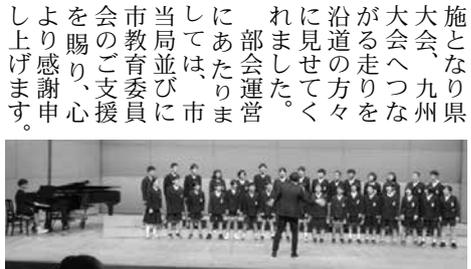
部会長 都呂々小学校 校長 古川 忠司

苓北部会として、今年度も児童生徒の文化及び体育の振興に寄与するための事業を実施しました。

【文化部】

各学校で文化展の作品作りを取り組み、市審査に素晴らしい作品を提出することができました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響から参加を控えていた郡市音楽会に、町内から四校が参加しました。



【体育部】

小学校は、七月に水泳記録会、十月に陸上記録会を盛大に実施することができました。好天に恵まれ、自己新記録もたくさん生まれました。

中学校は、夏季中体連大会で、男女ハンドボール、テニス個人戦ペア、水泳で県大会に出場しました。

部会運営にあたりましては、苓北町当局及び苓北町教育委員会のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

一年間をふり返って 各部活動報告

文化部

令和五年度は、文化展も音楽会も令和元年度とほぼ同様の内容で開催することができました。

文化展は、天草教育会館で十一月一日(水)～五日(日)までの五日間開催しました。入場者数は休日のみ方ウントしましたが、三日～五日の三日間だけでも二千人を超える観覧がありました。

音楽会も天草市民センターで、十一月十六日(木)、十七日(金)に来賓の皆様もお招きし、保護者観覧も可能にして開催しました。出場したどの学校も、とても素晴らしい発表でした。

開催にあたっては、各校の校長先生をはじめ、多くの先生方に多方面でご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

研修部

感染症に係る制約期間を経て、参加による研修会が数多く実施されました。参加者の顔が身近にあり、声が届く場を共有できたことは、閉塞感がなく、改めて学ぶ喜びを感じる時間となりました。各部門において、現代課題にアプローチしながら、教職員としての資質向上を目指した研修が実施されました。制約があった過去三年間の努力と工夫の成果が上手く取り入れられ、研修形態のブラッシュアップがなされました。まさに「研修

特別支援学級

特別支援学級作品展は、今年度も教育会館ロビー及び図書室にて展示することができたので、多くの方々に見ていただきました。

見る人を惹きつける感性豊かな作品ばかりで、この特別支援学級作品展が、特別支援学級や特別支援教育に対するよき理解啓発の場にもなっていることを嬉しく思います。

展示や撤去、作品の返却に關し、担任の先生方やブロック代表・各地区担当の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

科学・発明

コロナ感染症の五類移行の影響もあるのか、今年度は出品数も増え、各学校の取組数も以前と変わらないほどに戻ってきました。先生方のご指導の賜であると言えます。

また、作品の内容としても充実したものが多く、中学校の頑張りがかがえました。おかげさまで県科学展では小学校が「熊本県立教育センター賞」熊日ジュニア科学賞、中学校が「熊本博物館賞」、「熊日ジュニア科学賞」を受賞しました。

先生方、保護者の皆様のご協力・ご尽力に感謝申し上げます。

描画

小学校の生活画は、表情豊かに、絵から楽しそうな声がかえてくるような作品が多くありました。風景画は、色にこだわり、非常に見応えがありました。中学校は、見事な構図で迫力のある作品や、花びらなどの繊細な描写が印象的でした。

運営面においては、新たな方法も積極的に取り入れ、審査会はもとより、設営と撤去の際も作業が非常にスムーズでした。展示会にも多くの方が来場されました。

壁新聞



今年度は二十二点もの作品が寄せられ、中学校からの出品もありました。どの作品も丁寧で、学習の足跡がよくわかる素晴らしいものでした。

壁新聞作りはとても時間がかかりますが、手書きの温かさや子供たちの思いがダイレクトに伝わってきます。子供たちの努力と先生方のご指導に感謝いたします。次年度はさらに多くの応募を期待しています。ありがとうございました。

書写

文化展については、先生方のご協力のおかげで計画通り実施することができました。優秀賞作品には、練習のあとが見える力作が多くありました。児童生徒の頑張りや先生方の熱心な指導に感謝いたします。

次年度は、小学校では新しい教科書となるため、題材が変わる予定です。毎年夏の書写部門研修会で題材について扱っておりますので、多くのご参加をお待ちしています。

本年度も、ご理解とご協力ありがとうございました。

音楽

七十回目を迎えた伝統ある天草郡市小中学校音楽会が十一月十六、十七日の両日行われました。昨年度はコロナ禍での開催でしたが、今回は、全員合唱や表彰状の授与など本来の形に戻していくことができました。

参加校の児童生徒の皆さん、指導していただいた先生方、ありがとうございました。

運営面でもすべての学校の先生方に役員としてご協力いただきました。各学校の特色を生かした質の高い演奏が披露され、講師の先生方からも高い評価を得ました。ご協力いただきました関係各位に感謝申し上げます。

体育部(小)

小体連事業では、記録会等会場を提供いただいた学校をはじめ、各学校のご協力により、各事業を無事に終えることができました。

水泳・陸上記録会は、両記録会ともに、昨年度の反省を受けて工夫・改善しながら実施されていきました。

陸上記録会では、三種目で新記録が誕生し、水泳記録会では記録更新がありました。

十一月～二月中旬を実施期間とし、学級や縦割りグループで「八の字跳び」に挑戦し、三分間の回数を競い合いました。記録を集約し、各学校にメール配信することで、仲間づくりや冬の体力づくりの意欲向上を図りました。

夏休みには、小体研と連携して、「体育実技指導者研修会」を開催しました。今年度は、体育の授業づくりや幼少期における体育の実技研修、低・中・高学年別にマツト運動の実技研修を行いました。たくさんの方の参加をいただき、先生方から「授業にすぐに役立つ」等の感想があり、たいへん好評でした。

体育部(中)

本年度は、夏季大会、県伝大会を実施し、大きな事故もなく無事に終了することができました。

夏季大会は、コロナ禍による応援者の制限もなくなり、たくさんの方の応援の中に生徒たちは精一杯プレーしていました。

駅伝大会は、あましんスタジアムをスタート・ゴールとして実施しました。女子は一周、男子は二周回るコースで行いましたが、警察、陸協、その他たくさんの方々の協力を得て無事に終えることができました。

県大会、九州大会も同じコースで行い、沿道の皆様から多くの声援をいただき、盛況の大会となりました。

なお、主催行事の成績は次の通りです。

①郡市夏季大会
(六月十七日～十八日)

野球	本渡
サッカー	本渡
バレー	本渡
バスケット	本渡
ソフトテニス	本渡
ソフトボール	本渡
卓球	本渡
ハンド	本渡
柔道	本渡
剣道	本渡
空手	本渡
組手	本渡
形	本渡
形	本渡
男子	本渡
女子	本渡

②郡市駅伝大会(十月十八日)

男子	大矢野
女子	稜南

新採一年を経て



佐伊津小学校
教諭 坂井 達郎

児童と出会ってから一年が経とうとしています。

授業作りや生徒指導など、悩むことが多い一年でありましたが、校長先生をはじめ、諸先生方にご助言いただきたく度に「ありがたい。」「私もこんな先生になりたい。」と思いました。そして子供たちの元気な姿を毎日見て私も日々エネルギーをもらっています。これからも様々な方への感謝の気持ちを忘れず、子供たちのために精一杯努力していきます。



松島中学校
教諭 泉 遼太郎

松島中学校に赴任し、早くも一年が経とうとしています。初めて経験することばかりで不安や緊張の絶えない一年でしたが、日々成長の喜びや達成感を味わうことのできた一年でもありました。多くの先生方から温かいご指導をいただき、そして元気をくれた子供たちのおかげでこの一年を乗り越えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも子供たちと共に成長していけるような教員を目指し、精一杯頑張りたいです。



中南小学校
教諭 中川 翔太

初任者として、不安なことやわからないこともたくさんあった一年でしたが、昼休みに毎日子供たちと遊ぶ中で、嬉しそうな子供の姿に私も元気をもらっていました。また、大研前には、模擬授業をする中で、先生方からアドバイスをたくさんいただき、周りの先生方から支えられて成長することができました。これからも、感謝の気持ちを忘れずに、子供たちのために、今年度学んだことを生かしていきたいと思っています。



中北小学校
養護教諭 立田 安那

「保健室、落ち着きます」中北小学校の子供たちから言われて嬉しかった言葉です。慌ただしく始まった新規採用としての一年が、あっという間に過ぎ去ろうとしています。この一年を通して、養護教諭の専門性の根幹には「子供たちの話を聴く」ことがあると気づかされました。今後も、校長先生をはじめ多くの先生方に支えていただいていることに感謝の気持ちを忘れず、子供たちにとって安心できる保健室経営を目指していきます。



志岐小学校
教諭 西口 匠

志岐小学校に赴任して、もう一年が経とうとしています。振り返ってみると、「楽しかった」の一言に尽きます。そう思えたのも、温かい周りの先生方の存在と支えが大きかったからです。また、子供たちが素直で何事にも前向きに取り組み、成長し続ける教育活動が自分にとって大きなやりがいであり最高の学びの場です。



牛深中学校
栄養教諭 鶴長 七恵

出身地で栄養教諭としてのスタートを迎えられたことを嬉しく思います。一年を振り返ると不安や上手くいかないこともたくさんありましたが、周りの方々に支えていただき、乗り越えることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。天草は自然が豊かで、おいしいものがたくさんあります。給食を通して、子供たちに地域の産物やふるさとの素晴らしさ、食の楽しさや大切さを伝えていけるよう努力していきたいです。



五和中学校
教諭 田中 ゆりか

五和中学校というとても恵まれた環境で、充実した一年を過ごすことができました。日々の業務に追われ、余裕がなくなったり、悩んだりしたこともありましたが、しかし今笑顔で過ごすことができました。しかし今笑顔で過ごすことができているのは、何事にも一生懸命に取り組む生徒や、支えてくださる周りの先生方、家族、友達など、たくさんの方のおかげです。これからも自分が周囲の人を笑顔にできるような、自己研鑽を重ね、精進していきます。



本渡北小学校
事務職員 杉本 和香奈

私はこの本渡北小学校での一年間を振り返って、多くの人と深く関わることが出来たと感じています。周りの先生方の温かいサポートに救われ、最高の同期に支えられながら四月からの業務を行うことが出来ました。また、事務職員をしていただくことに関わるものが出来た人も多かったと思います。この環境と出会いに感謝し、来年度は一年目で得た知識を活かし周囲に目を配り、「気づき考え行動する」を目標にして精一杯頑張ります！

天草教育研究所

県大会に向けて 一年間を振り返って

令和六年度 熊本県小・中学校生徒指導 研究発表大会(天草大会)について

生徒指導部門 会長 中村 富男

令和六年度の熊本県小・中学校生徒指導研究発表大会が、天草で行われました。令和四年十二月に改訂された生徒指導提要に示された内容を踏まえ、学校や児童生徒の実態に即した積極的な生徒指導等の発表となればと考えています。また、児童生徒の自己指導能力の育成に向けて、ご参加いただき先生方の自校での実践につなぐことができる研究発表大会にできればと思っています。

天草大会での研究発表は中学校が二本(熊本市と八代)、小学校が一本(天草)となっています。小学校の発表は、亀川小学校の洞口典寛教諭による「常態的・先行的(プロアクティブ)生徒指導」についての内容となります。亀川小学校の実践を中心に天草管内の各学校で様々な実践を合わせて紹介し、天草の取組を県内に広く知っていただきたいと考えています。各学校における発達支持的生徒指導等の取組について、情報提供をお願いいたします。

なお、天草大会に向けて、令和五年十二月二十六日(火)に有明中学校で行われた天草教育研究所「生徒指導部門」研修会で、洞口先生に実践発表をしていただきました。その時の資料は、天草管内のすべての学校で共有できるように、「生徒指導部門」研修会に参加のなかった学校にも配付いたします。各教科や道徳科、特別活動等と関連させた取組が述べられていますので、各学校での取組の参考にしたいだけければと思います。天草大会は、八月下旬の開催を考えております。期日・場所の詳細は、二月以降に決定する予定です。テーマは、生徒指導提要の改訂の趣旨に沿ったものになるよう検討しています。最後に、天草教育研究所生徒指導部門の所属者は会長一人、副会長一人、研究委員四人の六人です。県大会を運営するには多くの先生方の力が必要となります。各学校の生徒指導担当の先生、ご協力をどうぞよろしくお願います。

道徳部門

会長 奥田 一之

熊本県下各地より約百四十名の先生方に参加いただき、第六十三回熊本県道徳教育研究大会天草大会を有明小・中学校を会場に開催しました。「生き方」についての考えを深め、共によりよく生きる児童生徒を育む道徳科の授業」を大会主題と

国語部門

会長 鶴田 英子

国語部門では、「言葉を生かし自ら学ぶ子供を育てる国語科授業」を研究テーマに、九月二十九日(金) 苓北中学校の荒平将吾教諭に研究授業をしていただき、四年ぶりに対面での研究発表会を開催しました。参加者は提案授業から、

生活・総合部門

会長 加島 政幸

本部門では、「ICTの効果的活用及び評価」をテーマに、八月三日に楠浦小で研修会を開催しました。講師に県立教育センターの中山亜紀先生をお招きして、タブレットを活用し、実践的な研修を行いました。学習指導の基本的考え方として、

技術・家庭科部門

会長 小柿 勇

技術・家庭科部門授業研究会を十一月二十四日に実施しました。技術部門は龍ヶ岳中学校の森敬太郎教諭が「エネルギー変換に関する技術」、家庭部門は松島中学校の將基礼美教諭が「食生活」について研究発表をされました。両部門ともに協議

算数・数学部門

会長 河内 秀幸

算数・数学部門では、「思考力・判断力・表現力等を育成する算数・数学の授業の創造」を主体的・対話的で深い学びを実現する授業を目指して、テーマに、小中連携を重視した研究を進めてきました。本年度は、十一月九日(木)に倉岳小・

特別支援教育部門

会長 赤城 理恵

今年度、特別支援教育部門には百三人の会員が所属し、オンラインによる二回の研修会を企画しました。第一回部門研修(七月三十一日)は「自己決定を大切にしながら進路指導の取組」について本渡中学校泉教諭の実践発表と、

学習活動を探究的にすること。また他者と協働して主体的に取り組む活動にすること。更にICT使用の目的を明確にすること。これらを、写真や映像で分かりやすく説明していただきました。本研修を通して、自分だったらどう授業改善に生かすかというイメージを持つことができ、参加者にとって実り多い研修となりました。

が深まり、本部門テーマの「学びを生かし、豊かな人生を育む技術・家庭科教育」に迫る充実した授業研究会となりました。また、今年度は九州中学校技術・家庭科教育大会熊本大会が開催され、御所浦中の岩崎由美教諭が「衣食住の生活」の内容で研究発表を担当されました。今後の天草郡市の実践に繋がる貴重な機会となりました。

「特別支援学級の授業づくり」について佐伊津小学校野島指導教諭の具体的な取組から多くのことを学びました。第二回部門研修会(二月)では、熊本県立菊池支援学校宮崎指導教諭による「自立活動について」の講演会を開催しました。天草の子供たち一人一人のもつ可能性を最大限に伸ばし、夢実現につながるための研修となりました。

